

議員提出第 5 号

令和 7 年 6 月 27 日

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

地方自治法第 109 条及び安曇野市議会会議規則第 14 条第 2 項の規定により、上記の議案を別紙のとおり提出します。

安曇野市議会

議長 松枝 功 様

福祉教育委員長 増田 望三郎

宛 先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

文部科学大臣

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

今、学校現場では、不登校の小中高生の数が41万人(令和5年度)を超えることが文部科学省の調査により明らかになっています。とりわけ小中では11年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きく関わります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、下記の措置を講じられるよう強く要望します。

記

- 1 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善、および学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年6月27日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
文部科学大臣

宛て

長野県安曇野市議会議長 松枝 功